

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



『情けは人のためならず』ということわざがあります。「人に情けをかけて助けてやることは、結局はその人のためにならない」という意味に間違えられてしまうことが多いことわざです。

しかし、本当は「人に情けをかけて助けてやると、いずれは巡り巡って自分に返ってくるから、誰にでも親切にしておいた方が良い」という意味なのです。

見方を変えれば、「友だちの悪口を言ったり嫌がらせをしたりしている人は、自分もいつか誰かから同じようなことをされてしまう」ということにつながります。

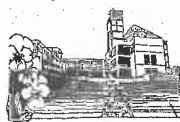
友だちに思いやりをもって優しく接すれば、いつの日か自分も誰かから優しく親切にされる。誰もがそんな気持ちをもって友だちと接していけば、「いじめ」等はなくなるのではないのでしょうか。

学校では、人間関係がうまく築けずに悩んでいる子どもたちや、友人とのトラブルから教室に入れなくなったり学校に登校できなくなったりする子どもたちが増え、大きな社会問題にもなっています。

また、パソコンや携帯電話・スマートフォン等を使用して、特定の友人の悪口や誹謗中傷等をインターネット上の掲示板などに書き込んだり、SNS等で「いじめ」を行ったりする事件もあります。

以前、あるテレビ番組で、自分の親を粗末にしている人は、年老いた時に自分の子どもに面倒を見てもらえなくなる割合がとても高いという報道がされていたのを耳にしたことがあります。

「情けは人のためならず」友だちを思いやる、人に優しく接する、自分の親やお年寄り、そして体の不自由な人に親切にする、困っている人を見かけたら優しく手をさしのべる、そんな気持ちを子どもたち一人一人がもってくださることを願っています。



各種大会結果

☆ソフトテニス部

茂原市長杯ソフトテニス大会

個人戦

古渡 旬 (3年1組)	都築 怜雅 (3年1組)	2回戦進出
松ヶ谷思葉 (3年1組)	湯浅 天輝 (3年2組)	2回戦進出
染野 陽天 (2年1組)	安藤 愛将 (2年1組)	2回戦進出

団体戦

1回戦 対 茂原東中学校	2-1	勝利
2回戦 対 勝浦中学校	0-3	惜敗

☆バドミントン部

第16回チャレンジカップバドミントン大会

予選リーグ

対 千葉市立幸町第二中学校	1-2	惜敗
対 印西市立西の原中学校	1-2	惜敗
対 市原市立八幡中学校	1-2	惜敗

決勝トーナメント

1回戦 対 大網白里市立大網中学校	0-3	惜敗
-------------------	-----	----

☆陸上競技部

第21回山武郡市中学校陸上競技標準記録突破記録会

3年男子100m

2位 (11秒51)	戸田 侑大 (3年1組)	県標準記録突破
3位 (11秒77)	宮本 倅琉 (3年1組)	県標準記録突破

共通男子200m

1位 (22秒84)	戸田 侑大 (3年1組)	県標準記録突破
------------	--------------	---------

共通男子800m

6位 (2分32秒23)	大木煌乃助 (2年1組)	
--------------	--------------	--

戸田 侑大 (3年1組)、宮本 倅琉 (3年1組)
全日本中学校通信陸上競技大会千葉大会出場決定